

2021

11

November

No.231

J A とまこまい広域

JA とま こまい 広域

SANSAN
光り輝く



特集

新米販売開始 各関係機関に新米贈呈する

J A とまこまい広域独自ブランド米(新米)

J A とまこまい広域広報誌
燐々光り輝く
No.231



■編集・発行 ■

T E L 0145-272241
F A X 0145-273941
JAとまこまい広域本所
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

令和3年11月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomai-kouiki.com

印刷 ■ 株式会社 須田製版

理事会報告

令和3年9月9日(木)に総合営農センターで第9回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

- 報告事項**
- 一般報告と当面する諸行事について
 - 7月末財務報告について
 - 9月1日現在、農作物の作況について
 - 組合員の異動について
 - 第2四半期余裕金運用について
 - 外部出資先の経営概況について
 - 固定資産の取得・処分について
 - 令和3年度7月期(半期)ディスクロージャー誌について
 - 管理委員会の結果報告について
 - 生産委員会の結果報告について
 - ALM委員会報告について
 - 内部監査の結果について
 - 生産者組織代表と常勤理事との意見交換会について(耕種)
 - 令和3年度産地交付金メニューについて
 - JAとまこまい広域杯少年サッカーフィニッシュ大会について
 - 「たんとうまい」新米贈呈について
 - 新米キャンペーン及び全国育樹祭コラボキャンペーンについて
 - 令和3年度小麦の調整状況について
 - コンプライアンス委員会報告について
 - 経営定期点検の結果について
 - 不祥事再発防止策の進捗状況について
 - 北海道常例検査(令和2年度)の改善状況報告について
 - ホクレンとの意見交換会について
 - 特定組合員資産状況確認結果
 - 大口貸出先上位50件の経営状況報告
 - 信用供与50,000千円を超える組合員の経営状況報告
 - 経営指導委員会要領の一部改正について
 - 白老支所運営協議会の開催報告について
 - 10月1日からの営業時間の変更について

- 協議事項**
- 令和3年産米集荷販売に係る取組方針について
 - 令和3年度特定米穀、小豆、大豆等の集荷取扱要領について
 - 役員視察研修について
 - 第30回JA北海道大会組織討議について
 - 第2四半期仮決算(収支予測)について

- 議案第1号 令和3年度米乾燥調製自主検定委員選任について
議案第2号 令和3年度大豆乾燥調製自主検定委員選任について
議案第3号 白老支所営業時間の変更について

令和3年10月15日(金)に総合営農センターで第10回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。

- 報告事項**
- 一般報告と当面する諸行事について
 - 8月末の財務報告について
 - 10月1日現在、農作物の作況について
 - 組合員の異動について
 - 固定資産の取得、処分について
 - 第2四半期定期監査・常勤監事随時監査の結果について
 - 枝肉共励会の結果報告について
 - 役員組合員訪問の意見集約について
 - 令和3年度北海道報徳(善行賞)受賞候補者の推薦について
■推薦者…白老支所 堀部 豊 氏
 - 不祥事再発防止策の進捗状況について
 - 令和3年度現金及び棚卸資産の管理に係わるJA自主点検の取組結果について
 - 厚真町特別職報酬等審議会委員の委嘱について
 - 日胆地区政治連盟活動報告について
 - 長期シミュレーションの実施について
 - 11月1日からの営業時間の変更について
 - 特別加給退職金の支給について
 - 第30回JA北海道大会について
 - 厚真支所実質破綻先に係わる債権回収の状況について
 - 第2回地域振興検討委員会の開催結果について

- 協議事項**
- 令和3年度コロナ影響・干ばつなどに係わる資金対応について

- 議案第1号 給与規程の一部改正について
議案第2号 就業規則の一部変更について
議案第3号 共励会管理規程・要領の変更について
議案第4号 財務管理規程の一部変更について
議案第5号 出資の減口と譲渡について



新米販売開始

各関係機関に新米贈呈する

JA

SANSAN
光り輝く

No.231 CONTENTS

- 01 特集 新米販売開始
各関係機関に新米贈呈する
- 03 カメラレポート
- 07 全道共励会肉豚の部団体で優秀賞を受賞する
ホクレン事業概況・重点取り組み周知する
ホクレン苦小牧支所との意見交換会WEB開催
- 08 農協法公布記念日にあたって
～令和3年11月19日
- 09 フロンティア塾
11月は、労働保険未手続事業一掃強化期間です
- 10 期待の農力 池田晃司さん
- 11 ワンポイント営農情報
- 12 あぐり講座
- 13 JAからのお知らせ
- 14 JAグループ通信

裏表紙 理事会報告



同JAで生産された令和3年度産の新米。
ななつぼしを使用した独自ブランド広域産
「tanどうまい」、厚真産「さくら米」、穂別産
「雪瑞穂」。同年12月まで
新米キャンペーン
実施中。



▲厚真町へ贈呈(⑥から、斎藤地区担、宮坂町長、堀専務、遠藤教育長)



▲むかわ町へ贈呈(⑥から竹中町長、宮田組合長)



▲安平町へ贈呈(⑥から中道地区担、金川地区担、及川町長、堀専務、種田教育長、同JA服部参事)



新米を販売するAコープ厚真店

むかわ町へ贈呈

5日、同JAの堀弘幸専務をはじめ斎藤義幸
厚真地区担当理事らが厚真町役場を訪問し
了。厚真産ななつぼしを使用したブランド米「さくら米」50kgを宮坂尚市朗厚真
町長と遠藤秀明厚真町教育委員長へ手渡した。贈呈した新米は7日の学校給
食で生徒たちに振舞われた。

堀専務は「例年より豊作傾向で良い出来秋を迎えることができました。多くの皆さんに食べて頂き出来秋を楽しんでもらいたい」と話した。また宮坂町長は「今年の夏は高温が続き生育を心配していたが、このように良い出来秋を迎えたことができ農家の技術に改めて感銘を受けた」と話した。

安平町へ贈呈

6日、同JAの宮田広幸組合長らがむかわ町
役場を訪問し、穂別産ななつぼしを使用したブ
ランド米「雪瑞穂」50kgを竹中壹之むかわ町長へ手渡した。新米はむかわ町の子
ども園に届けられ給食で園児たちに振舞われた。

宮田組合長は「今年は90%程度が低タンパク米となつていて、量・品質ともに良
い新米が収穫できた」と話した。竹中町長は「お米と同様に穂別産品目を使い
秋にホッカイドウ競馬場で冠レースを計画しPRする予定」と話した他「ふるさ
と納税の返礼品へも対応しPRを図っていきたい」と話した。

同JAの新米は、苦小牧市内で寿司屋と和食を提供する日本橋やラーメン宝
龍、中国料理蓬莱をはじめ苦小牧青果市場の中にあるまるいち食堂、同JA管
内の近隣飲食店などで食べる事が出来る。またふるさと納税の返礼品とし
て安平町では「たんどうまい(胆東米)」、厚真町では「さくら米」、むかわ町では
「雪瑞穂」をそれぞれの自治体において提供しているほか、同JAのAコープや
ネットショッピングでは独自ブランド3商品の他に「ゆめびりか等の「JAとまこま
い産」のお米が取り扱われている。道外販売先は、神奈川県内でスーパーマー
ケットチェーンを開発する株式会社、関東圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)
に出店している株式会社の店頭でも販売される。



▲上野地区での収穫風景



▲職員によって受け入れした大豆を検査する様子



▲トラックの荷台からハードコンテナを降ろす作業(厚真町上野地区)



▲ハードコンテナを下屋に一時仮置

JAとまこまい広域は10月15日、厚真町上野地区にあるライスセンターで大豆の受け入れ初日を迎え、18件の生産者から約100tを乾燥貯蔵施設へ受け入れました。同施設へは追分・厚真・穂別地区からの大豆を受け入れ、水分を測定し基準ごとに貯留庫に一時保管。ロットが溜まり次第乾燥作業へ移行される。15%以下まで乾燥させ、ふるい分けや比重選別、転選色彩選別を行いフレコン又は紙袋に詰め出荷される。主に納豆に加工され多くの消費者に届けられています。

JAとまこまい広域担当者は「昨年よりも腐れの比率が少なく製品率が良好だが、受け入れ開始以降天候不良が続いているため品質がどうなるか」と不安を覗かせる。今年の大豆は、広域管内で2,414tを施設での受け入れを見込む。



JAとまこまい広域は、厚真町上野地区にある「たんとうまい（胆東米）ステーション」（カントリーエレベーター）が9月20日ころから受け入れの繁忙期へ突入することから、本所と厚真支所の職員により職場応援が開始された。ピーケクを迎える20日から約1ヶ月間行われた。地区ごとに出荷日を定めスケジュール管理を行うことで、1日最大300tを330tに抑制し、施設操業を進める。

今回の応援では、生産者が持ち込むハードコンテナ（1基／約1.2t）を



▲ハードコンテナを下屋に一時仮置

トラックの荷台からハードコンテナを降ろす作業（厚真町上野地区）

トラックの荷台からフォークリフトで降ろすほか、施設へ粉を搬入する作業が行われた。職場応援に駆け付けた職員は「農協には多くの部署があるため、所属している部署とは全く違う仕事を体験することで、少しでもたくさんの経験を積むことができ良かったと思う」と話した。また、応援先の部署担当者は「近年短期間で働いて貢える人員を確保することに苦労しており、数年前から他部署からの応援を農協として取り組んでもらいたい大変助かっている。業務の合間に縫つて応援に来てもらっている職員には感謝したい」と謝辞を述べた。

今回は述べ36名の職員が応援に駆け付けた。

広域

施設へ受け入れ

大豆収穫進む

広域

職員による職場応援開始

繁忙期突入、粉の出荷にトラック並ぶ



▲しゃもじ贈呈の様子(左から農林中金中村営業部長、道林連中村専務、JAとまこまい広域宮田組合長、苫小牧広域森林組合小坂組合長)

これまで共同で様々な木育活動を展開している北海道森林組合連合会と農林中央金庫札幌支店は、今回苫小牧市で開催される全国育樹祭が多くの人々に森林資源の循環維持の重要性を知つてもらえる機会と捉え、苫小牧市を管内に持つJAとまこまい広域とJAが本所を構える厚真町で執り行つた。道林連タッグを組み企画した、道産木材を使用した「しゃもじ」の贈呈式を全国育樹祭に先駆け10月1日、JAが本所を構える厚真町で執り行つた。道林連と農林中金はこれまでにも、認定こども園への木のおもちゃや贈呈や木育資材の貸し出しなど様々な木育活動を行つている。

贈呈された「しゃもじ」は、JAの新米キヤンペーン10月限定企画としてAコープ厚真店と穂別店で新米を購入・予約し、10月31日までに応募した方の中から抽選で200名にプレゼントする。しゃもじには、道産のセン（広葉樹）が使用され白く木目がはつきりとし、滑らかな手触りに仕上げられている。

贈呈式で、道林連の中村学代表理事専務は「北海道産材で作られた木製品の良さを知つてもらい、子どもだけではなく「おとなの木育」の場となつてほしい」と延べ、農林中金の中村剛崇北海道営業部長は「胆振東部地震で大規模な森林被害を受け、森林再生及び林業復興へ本企画が微力ながらお力添えに繋がればと思っています」と話した。宮田広幸代表理事組合長は「全国育樹祭が震災を受けたこの北海道、また胆振東部で行われることで多くの方に森林資源の循環利用の大切さを理解して頂き、森林復興



▲今年の新米

室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを表明し、重点的に進める取り組みの一つとして「森林などの二酸化炭素吸収源の確保」を挙げているため、JAが本所を構える厚真町で執り行つた。道林連と農林中金はこれまでにも、認定こども園への木のおもちゃや贈呈や木育資材の貸し出しなど様々な木育活動を行つている。

※キヤンペーン対象店舗 Aコープ厚真店・穂別店

これまで以上に森林の持続的な機能の発揮と炭素貯蔵効果のある木材利用の拡大など、森林資源の循環利用に期待されている。

広域

道産木材を使用した「しゃもじ」贈呈

森林資源の循環利用の必要性の認識広める

に繋がることを期待するとともに、昨年から続く口大禍により米の消費減少と買取価格の下落が顕著に表れているので、このキヤンペーンで少しでも消費拡大に繋がることを期待しています」とあいさつした。

2020年3月に北海道は、2050年までに温室内効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを表明し、重点的に進める取り組みの一つとして「森林などの二酸化炭素吸収源の確保」を挙げているため、これまで以上に森林の持続的な機能の発揮と炭素貯蔵効果のある木材利用の拡大など、森林資源の循環利用に期待されている。



▲種麹を篩いでまんべんなく振り掛ける様子

JJAとまこまい広域女性部厚真支部の加工部は、10月7日～9日にかけて米麹の仕込みを厚真町にあるJJA加工施設で実施した。この米麹は、広域オリジナル商品として販売されている「おふくろみそ」にも使用する。

セイロで蒸された米は、熱と水分を飛ばすためかき混ぜられ人肌まで冷まし、種麹を振り掛け、36℃～40℃に設定された装置に入れ一晩保温する。この間に麹菌は増殖し、翌日には米を覆い固めるため、米の切り替えし（ほぐす作業）を行い酸素を供給し、麹菌の広がりを促して再度一晩保温し完成する。原料となる米には厚真町で栽培されたななつぼし

腸内環境を整える米麹は、「ミネラルやビタミンの他に特にビタミンB群を豊富に含んでおり、主に補酵素と呼ばれる体内活性物質として働き、身体を維持する役割を持っている。皮膚の炎症を抑えることや、ストレスを和らげるホルモンの合成に関与する等の効果が期待できる」とあります。無くなり次第販売終了のため、購入を検討されている方はお早めに店頭まで足をお運び頂きたい。

厚真

「おふくろみそ」にも使用

厚真支部女性部による米麹仕込み始まる



▲店頭で販売される米麹



▲ドライブスルー方式で行われた販売



▲多くの方がイベント会場に訪れた

ペツ・ほうれん草・ブロッコリー等、旬の野菜を段ボールに詰合せ、200セット用意。当時はドライブスルー方式でお一人様1セットの販売を行った。また、南瓜とカリフラワーが無償で提供された。

当時は、あいにくの曇り空の中ではあつたが、安全・安心な農産物を町民還元価格で購入できるとあって、販売開始の午前10時前から大勢のお客様が新鮮野菜を買い求め、お昼頃には完売するほど盛況ぶりとなつた。

穗別
ドライブスルー方式で物販イベント開催

ドライブスルーマルシェ 旬のむかわを食べ尽くせフェア



▲営業終了する大成町にある苦小牧支所

地域の話題を
パチリと

カメラレポート

苦小牧
12月3日を以て、営業終了する

JAとまこまい広域苦小牧支所老朽化により移転

苦小牧市大成町にあるJAとまこまい広域の苦小牧支所は、令和3年12月3日（金）を以て営業終了する。支所・金融店舗は日肥農業会館（苦小牧市若草町5丁目5番3号）1階に移転し、令和3年12月6日（月）から営業を開始する。現在、金融店舗に設置されているATMは、ホクレンショップFood Farm苦小牧（1番15号）に移設され、移転後の苦小牧支所はATMを設置せず窓口業務のみの営業となる。



▲営業終了する苦小牧支所での接客の様子

同支所は旧苦小牧市農協時代の昭和49年5月に新築され、2度の増築を経て今日に至る。47年の歳月の経過で老朽化が著しく、今回移転する運びとなつた。これまで、生活店舗（平成27年6月閉店）、グリーンセンター（平成31年2月閉店）とともに多くの方々に利用されてきた。移転後は取り壊しとなる見込みだ。

JJAとまこまい広域では引き続きのぞ愛顧を願い12月6日から全支所金融店舗で移転オーブン記念キャンペーンを実施する予定だ。



▲コツをつかんで次々稻を刈る児童

安平町追分では、9月28日（火）に安平町ふるさと学習・学社融合推進事業の一環として、追分小学校5年生児童を対象にした「米作学習」が追分米生産振興会の武田忠雄さんの圃場で開催された。この「米作学習」は毎年開催されており、学習1回目の5月の「田植え」は新型コロナウイルスの影響で中止となつたが、7月に「生育調査」が行われ、今回は3回目となる「稻刈り」を行つた。開催当日は天候に恵まれ、田んぼに集まつた児童達は鎌を片手にやる気満々。



▲はさがけの指導をする武田さん

追分
追分米生産振興会協賛

追分小学校5年生「米作学習」稻刈り

農協法公布記念日にあたって ～令和3年11月19日～

平成30年9月6日発生の胆振東部地震から3年が経過しました。尊い命を奪われた方々へのご冥福をお祈りすると共に復旧、復興にご尽力されている皆様に心より敬意を申し上げます。

昭和22年11月19日に農業協同組合法が公布され、74年目を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的・社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の経営と生活の安定そしてより良い地域社会の実現をめざし、総合事業を展開しながら今日に至っております。

昨年より、新型コロナウィルスという今まで経験したことのないウィルスが、世界的に感染拡大し、社会・経済の環境変化にも大きな影響を与えております。農業分野においては農畜産物の需要の減少で、中でも米価の下落が深刻な状況となっています。また地方への関心の高まり、SDGsへの貢献、地球温暖化による気候変動への対応として「2050カーボンニュートラルへの挑戦」でみどりの食料システム戦略が策定され、注視しながら対応して参ります。



とまこまい広域農業協同組合
代表理事組合長 宮田 広幸

今年は3年に1度の第30回北海道大会が開催され、北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」が決議されました。当JAでもコロナ禍で制限もありますが地元学校のインターンシップの受入、准組合員農業体験や交流会、小学生サッカー大会の後援、地域イベントの主催共催、JA事業の利用推進、青年部、女性部が子供たちへの農業体験や学習活動の展開を通じて協同組合の輪を広めております。

各方面からご支援頂いた胆振東部地震からの復興、ウイズコロナへの対応、組合員の減少に対応するJA内の組織の再編検討などこの難局を乗り切り、組合員、役職員が一丸となり、農協法の目的を再確認し、充実した組織として発展するよう共に頑張りましょう。地域農業発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。

全道共励会肉豚の部 団体で優秀賞を受賞する

厚真町にあるJAとまこまい広域本所では10月22日、令和3年度北海道枝肉共励会（肉豚の部）の表彰授与式を開催した。同共励会はホクレン農業協同組合連合会が9月10日に安平町にある北海道畜産公社道央事務所で実施し、昨年に引き新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み当日の授与式は中止、審査のみとし後日同連合会が各受賞JAを訪問する形で執り行われた。

計16頭分の枝肉から評価する団体の部で同JAは、16頭中「上」が14頭、「並」が2頭という成績を収め、上位等級比率の高さが評価され優秀賞1席を受賞した。また個人の部では、(有)富樫オークファームが優良賞を受賞した。

※団体の部へ出品した生産者：
(有)富樫オークファーム、(株)エフティファーム、(有)希望農場

部 門	順 位	受 賞 者
団体の部	優秀賞 1席	JAとまこまい広域
個人の部	優 良 賞	(有)富樫オークファーム



▲前列から、広域養豚振興協議会斎藤副会長、(有)希望農場、(株)エフティファーム、(有)富樫オークファーム、奥後列から、ホクレン苫小牧支所畜産販売課澤田課長、ホクレン苫小牧支所高橋支所長、宮田組合長(JA)、堀専務(JA)、松原参事(JA)



▲授与されたトロフィー

ホクレン事業概況・重点取り組み周知する ホクレン苫小牧支所との 意見交換会WEB開催

JAとまこまい広域は10月15日、厚真町にある本所会議室と苫小牧市にあるホクレンの会議室をWEBで繋ぎ意見交換会を開催し、総勢62名が参加した。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止でしたが、今年はWEBを活用し実施した。

開催に当たり宮田組合長は「内閣総理大臣が交代し、今後の農政対策も注目となります。JAと連合会が一体となって組合員の所得向上に向けて取り組むことに変わりはありませんので、この意見交換会が意義のあるものになればと思います」とあいさつした。

意見交換会では、ホクレンより事業概況及び重点取り組み事項などがそれぞれ各部門より説明された。参加した役職員からは「令和3年度産米が大幅な値下がりを見せる中、肥料などの価格は値上がりとなっており、再生産可能なコスト割れが危惧されている。今後の新たな対策は検討しているか」など現在の情勢に関する質問が多数挙げられた。その後、耕種と畜種に分かれ分科会を開き、それぞれグループディスカッションが行われ意見交換会は終了した。



▲WEB開催された意見交換会の様子



▲分科会のグループディスカッションで堀専務がホクレン担当者と意見交換している様子



さんかがやく 期待の農力

牛の健康と 家族の健康を 第一に



いけだ こうじ 池田晃司さん(24歳) 安平町早来富岡

晃司さんは、平成27年に苫小牧工業高等学校（土木科）を卒業し、苫小牧市内の土木関係の会社に就職。現在は、兄の伸一さんと共に父の祥一さんの後を継ぐため奮闘している。

就農のきっかけ

就職して2年が経過しようとした時、父が入院する事に。幸いにも無事退院する事が出来たが、兄と母の2人で酪農全般の作業をしている姿を見て、自分も手伝わなくてはと思い2年間務めた会社を退社し就農した。「酪農は朝が早いことは習慣となつて、いたため苦にならなかつた。イメージがあると思うが、前職から朝が早いことは習慣となつて、いたため苦にならなかつた。

就農のきっかけ

晃司さんは、平成27年に
苫小牧工業高等学校（土木
科）を卒業し、苫小牧市内
の土木関係の会社に就職。
現在は、兄の伸一さんと共に
に父の祥一さんの後を継
ぐため奮闘している。

第三回 とすの豊穣

晃司さんは、平成27年に
苫小牧工業高等学校（土木
科）を卒業し、苫小牧市内

また昔から動物が好きであった事から、乳牛に触れる事にも抵抗はなかつた」と晃司さんは話す。

フロンティア塾

今回9回目の開催を迎える「フロンティア塾」。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見合わせましたが、「しっかりととした未来を見つめることができる担い手づくり」を実現するため、農閑期を利用し、農業経営や生産技術のほか幅広い講義を通じて、個々のスキルアップを図っていきます。

12月7日の開校を皮切りに全4回のプログラムを企画しておりますので、是非ともご参加いただき、農業経営のランクアップを目指しましょう。

○募集内容

★参考範囲:JAとまごまい広域管内の新規就農者及び
就農間もない農業者

★定 員:おおむね40名
(募集期間:令和3年11月30日(火)まで)

★受講料:無料

注)講習を受けるには会員登録が必要です。前回までの参加者も会員の継続確認が必要です。

★お問い合わせ:本所営農課(担当 葉内・川原)

☆講習内容			
受講回数	講習内容		開催場所
第1回	日時:令和3年 12月7日(火) 10:00~15:00		本所 営農センター
	講義① 10:00~15:00	○講習内容:JA概要紹介・クリカミン制度や管農計画書作成基礎及び農業簿記入門編 講師:JA及び税理士法人才オーレンス税務事務所 (JA事業のメリット・デメリットやJA組織の説明の他、農業簿記の仕分け方や統申告の基礎知識など)	無料(昼食付)
第2回	日時:令和4年 1月中旬 10:00~15:00		本所 営農センター
	講義② 10:00~15:00	○講義内容:施肥技術講習会 No.1 講師:ホクレン苦小牧支所 (2日間にわたり実践的な土づくりの知識習得と高品質・高収量を目指した施肥体系を学びます)	無料(昼食付)
第3回	日時:令和4年 1月中旬 10:00~15:00		本所 営農センター
	講義③ 10:00~15:00	○講義内容:施肥技術講習会 No.2 講師:ホクレン苦小牧支所 (2日間にわたり実践的な土づくりの知識習得と高品質・高収量を目指した施肥体系を学びます)	無料(昼食付)
第4回	日時:令和4年 2月中旬 10:00~15:00		本所 営農センター
	講義④ 10:00~12:00	○講演内容:「未定」 講師:NPO法人ezorock or 市場関係者	無料(昼食付)
第5回	講義⑤ 13:00~15:00	○講義内容:「農業機械のメンテナンス」 講師:JA農機車両センター (毎年恒例のメンテナンス講習です。お題は受講者の希望に合わせて設定します)	無料(昼食付)

1月は、労働保険未手続事業一掃強化期間です!!

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人で雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務付られています。

厚生労働省では、「未手続事業の一掃」を年間を通じた主要



問い合わせ先: 厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課(011-709-2311)
または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所(ハローワーク)

今後は牛のみならず家族も健康でいられる経営が目標だと話す。



かぼちゃの 土壤断面調査結果 について

令和3年10月13日に農業関係機関が集まり、かぼちゃ収穫後のは場で土壤断面調査を行いました。その結果についてお知らせします。

1 耕種概要

品 種: ダークホース 仕立: 子づる 2本
土改剤等: 堆肥 2t/10a、苦土炭カル 100kg/10a
施 肥: 基肥 BBS004N 60kg/10a(マルチ幅)
追肥 BBS004N 30kg/10a
育 苗: は種 6/17、定植 6/28、セル 72 穴育苗
栽植密度: 穴間 330cm × 株間 60cm(505株/10a)



写真 調査の様子

2 断面調査結果

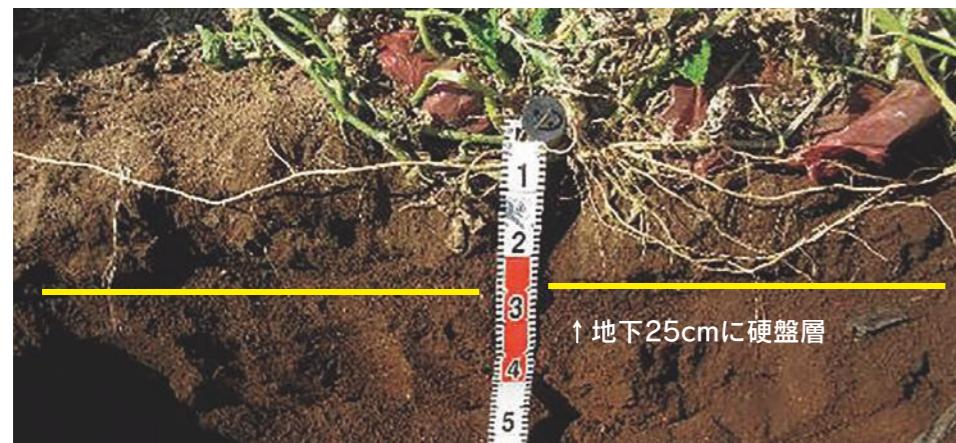


写真 垂直方向に伸びた根

●垂直方向の伸長
調査は場は、地下 25cm に硬盤層があつたため、25cm 以下にほとんど根がありませんでした。
また、ほとんどの根がマルチ幅に集中していました。



写真 水平方向に伸びた根

●水平方向の伸長
水平方向に平均 270cm 伸びていました。

3まとめ

調査結果より、かぼちゃの根は非常に広域に分布していることがわかります。このことから、しっかりと土づくりを行い、広い範囲に長期間にわたって窒素を供給できるような土壤にすることが、良好な生育を保つ条件と言えます。

また、ほとんどの根がマルチ幅に集中していることから、基肥はマルチ幅に施肥するのが効率的と考えられます。さらに、硬盤層があると根の地下伸長を妨げるため、心土破碎等を実施し、土壤物理性の改善を図りましょう。

ワンポイント営農情報

栽培履歴の提出は、お済みですか？

平成26年度から 農薬成分の一日摂取許容量に加えて、農薬登録の安全評価に**短期暴露評価**が導入されたことで、(短期間に高い濃度の農薬成分が残留した作物を大量に摂取した場合を想定) **農薬基準の即時照合と精度の高い農薬の適正使用診断を図る**ため、平成29年度より生産履歴の回収方法を「**aprasアプラス**」に変更しました。
出荷時提出が基本です
提出忘れはありませんか？履歴提出までが生産者の責任です。

WEBを利用するには…

JAとまこまい広域ホームページから、



をクリック

農林水産省登録第20889号

農薬登録番号は、農林水産省登録番号を利用してありますので、利用した農薬容器の記載番号を確認下さい。

各振興会・部会事務局、またはクリーン農業係まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

シリーズNO.23 おいしい米づくり

～令和3年米の生育の特徴 1～

本年の水稻移植後の気象は、登熟始め頃までは高温に経過し、生育の進みや生育量は平年を上回っていました。登熟期間は、8月中旬に著しい低温が続き、それ以降も最低気温が低めに推移しましたが、成熟期も平年より早まりました。

農政事務所発表の9月25日現在の発表では、全粒数が平年より多く、胆振管内の作況指数は「110」の良となっています。

JJA管内で実施している稔実調査からも、穂数は平年より多く、一穂粒数は「ななつぼし」が遅れ穂により、平年よりやや少ないものの、不稔粒が少なく、収量に結びつく粒(稔実粒)は平年より多くなっていました。

次号以降も、今年の生育を振り返り、高品質・低タンパク米の継続出荷に向けたポイントを整理していきたいと思います。

～JA全域幼形期・稔実調査より～

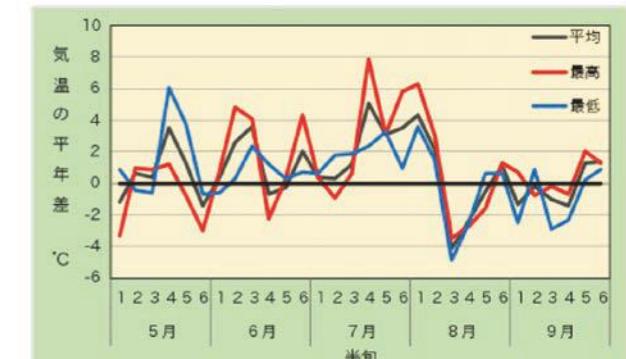
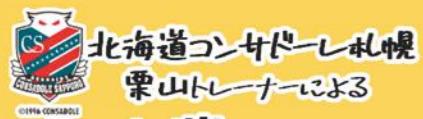


図 気温の平年差での推移
※厚真町アメダス

表 収量構成要素の平年比較

	穂数の多少	一穂粒数の多少	全粒数の多少	稔実歩合の多少	稔実粒数の多少
中苗 ななつぼし	多い	やや少ない	やや多い	やや多い	多い
中苗 ゆめぴりか	多い	多い	多い	やや多い	多い

※JA全域稔実調査での比較
※平年は、平成27年～令和2年調査値の平均



農作業にも役立つセルフコンディショニング講座

選手達のコンディショニング、フィジカルトレーニングを担当している栗山涉トレーナーが、誰でも簡単にトライできる、セルフコンディショニングの方法をご紹介します！スポーツをしている人も、していない人もチャレンジしてみましょう！

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！

1 10秒×3～5回繰り返す

- 1 顔の前で肘と手を合わせる



- 2 肘と手を合わせたまま上げて10秒キープ



※無理なくできる範囲で！
※腰を反らないよう注意！

2 前後5秒キープ×5

- 1 手を肩の高さでしっかり前に突き出し、5秒キープ



- 2 肘を曲げて肩甲骨を内側に寄せ、5秒キープ



※肘は肩の高さをキープ！

3 上下5秒キープ×5回

- 1 腕を開いて肩甲骨を内側に寄せ、5秒キープ



- 2 両手を上げて手の甲をつけ、5秒キープ



4 10回ずつ

- 1 肘を曲げて指先を鎖骨の付け根に置く

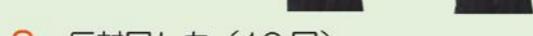


- 2 肘でゆっくり円を描く（10回）



※円は徐々に大きくしていく

- 3 反対回しも（10回）



今回のテーマ 肩こり改善エクササイズ

肩こりの原因は様々ですが、肩まわりの筋肉が硬くなり血行が悪くなっていることは大きな原因の一つです。

今回ご紹介するエクササイズを実施することで肩まわりの筋肉の血行が改善し、肩コリが楽になります。

※エクササイズをすることで肩に強い痛みが生じる場合はすぐに中止して下さい。既に肩に痛みがある場合は整形外科を受診することをお勧めします。

News & Topics from JA

JAからのお知らせ

JA日誌

2021 11月

16日(火)	第30回JA北海道大会(Web開催)、みのり監査期中II～19日、第3四半期事業ヒアリング15日～19日
17日(水)	
18日(木)	
19日(金)	農協法公布記念日
20日(土)	令和3年度日胆黒毛和種枝肉共励会(ホクレン十勝枝肉市場)
21日(日)	
22日(月)	第10回企画会議
23日(火)	
24日(水)	第3回 管理委員会・生産委員会
25日(木)	4地区理事研修(Web)、第3回地域振興検討委員会
26日(金)	
27日(土)	令和3年度北海道枝肉共励会 黒毛和牛の部(ホクレン十勝枝肉市場)
28日(日)	
29日(月)	第11回理事会
30日(火)	役員OB会総会(厚真)

2021 12月

1日(水)	ホクレン肉牛市場
2日(木)	ホクレン乳牛市場
3日(金)	共済連第5回運営委員会(札幌)
4日(土)	
5日(日)	
6日(月)	
7日(火)	第1回フロンティア塾
8日(水)	新任理事研修(JAカレッジ)、第3四半期 定期監事監査～9日
9日(木)	全道青年部大会～10日
10日(金)	厚真町農業懇談会
11日(土)	白老牛農産物フェア(予定)
12日(日)	
13日(月)	組合員懇談会(白老、苫小牧、早来)
14日(火)	
15日(水)	組合員懇談会(追分、厚真、穂別)

※新型コロナウイルスの影響により中止となる場合がありますのでご了承下さい。

JAとまこまい広域苦小牧支所移転のお知らせ

日頃からJAとまこまい広域苦小牧支所をご利用頂き、誠にありがとうございます。

このたび、事務所の老朽化にともない苦小牧支所事務所を以下の通り移転する運びとなりましたのでお知らせ申し上げます。旧苦小牧市農協時代からご愛顧頂き改めてお礼申し上げます。

お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、今後とも変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

- 現事務所での営業 令和3年12月3日(金)まで
- 移転先での営業 令和3年12月6日(月)から
- 新住所 苦小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館1階
- 電話番号 0144-84-5117(番号が変わります)
- ファクシミリ 0144-84-6763(番号が変わります)

※ATMはホクレンショップFoodFarm苦小牧しらかば店に移設し、12月6日(月)から営業致します。

職員異動

死亡退職 かねてより病気療養中であります、佐藤文康職員が10月2日逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表しますと共に心よりご冥福をお祈り申し上げます。

10月2日付 穂別支所 佐藤 文康 平成23年8月1日入組
追分支所資材燃料課給油所長、経済部機械燃料課厚真給油所長、穂別支所資材燃料課給油所長を務め退職

依願退職 お疲れ様でした

10月31日付 金融部 池田 桃子 平成27年4月1日入組
苦小牧支所金融課金融係、金融部金融課金融係を務め退職

お悔やみ

謹んでご冥福をお祈りいたします。

月日	地区	氏名	享年
10/21	安平町	高田 稔さん	79
10/22	むかわ町	五十嵐秀夫さん	80

ホクレン南北海道 黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(10月) 令和3年10月6日

性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	37	759,432	1.181 2,235
	雌	28	605,857	1.004 1,939
苫小牧	去勢	6	676,167	1.171 1,958
	雌	1	610,000	0.969 1,943
早来	去勢	30	783,333	1.264 2,189
	雌	19	675,105	1.099 2,035
厚真	去勢	24	770,000	1.201 2,208
	雌	25	616,760	1.078 1,884
穂別	去勢	31	749,000	1.168 2,221
	雌	22	622,591	1.047 1,946
追分	去勢	10	775,800	1.240 2,189
	雌	8	656,375	1.067 2,073
とまこまい広域	去勢	138	761,688	1.203 2,201
	雌	103	628,816	1.053 1,956
胆振管内	去勢	274	753,891	1.174 2,247
	雌	161	636,789	1.048 2,010
市場計	去勢	959	719,955	1.139 2,170
	雌	680	612,262	1.013 1,986